

学力向上プラン作成における留意点

1. 学力向上プランの位置付けについて

- 学力向上プランは、【授業改善】の取組のみならず、【家庭・地域との協働】や【授業改善以外の学力向上の取組】（補充指導、家庭学習指導、読書指導等）を含めた学力向上に資する全ての取組に対する計画である。

2. 「学校評価の4点セット」と「授業改善の5点セット」について

- 〈授業改善テーマ・重点〉は、「学校評価の4点セット」の「重点目標」を、どのような授業で達成しようとするのかといった視点から設定する。
- 「学校評価の4点セット」の「重点目標」は、資質・能力ベースで設定されているため、それを実現するための「重点的取組」は、〈授業改善テーマ・重点〉に整合するケースが多いと考えられる。
- 「授業改善の5点セット」の〈取組指標〉は、「学校評価の4点セット」の「取組指標」と同様のもので位置付く場合もある。また、必要に応じてさらに具体化した「授業改善の5点セット」の〈取組指標〉を加えて設定するなどが考えられる。

3. 「学力に関する達成指標」について

- 「学力に関する達成指標」は、授業改善だけでなく、学力向上の取組全てを通して達成することを旨として設定する。
- 通常は、「学力に関する達成指標」は、「学校評価の4点セット」に設定した達成指標の中から、学力向上プランに関わる達成指標を記載するケースが多い。
- 各学校における単元末テストや定期考査等の結果等、短期の検証・改善を行えるものを指標に用いること。また、年度を超えて経年比較できる国・県・市町村等の調査結果も併用することが望ましいが、これらは年に1回の実施が多く、短期の検証・改善が難しいため、そのみの指標は設定しない。
- 必要に応じ、児童生徒向けアンケート等の結果や、児童生徒の成長が実感される行動を可視化した数値を設定するなどの工夫も考えられる。

4. 「授業改善の5点セット」の〈検証指標〉について

- 〈検証指標〉は、授業改善が進んだかどうかを検証するための指標。
- 〈検証指標〉は、単元末テストや定期考査の結果、児童生徒の意識調査の結果、観点別評価の結果、学校評価の結果等を活用する。
- 〈検証指標〉を達成することで、「学力に関する達成指標」の達成に確実に近づくように設計する。